

全国ガス事業者の取り組み

ガス警報器白書2018



ガス警報器工業会

目次

警報器特集 保安確保の最後のとりで

- 更新率向上に注力ー大阪ガス協力店でトップ **P2**
- 警報器の有効性をPRー重盛徹志会長に聞く **P3**
- 18年度の普及に向けた取り組み
ー独自キャラクターを制作 **P4**

都市ガス警報器アンケート 2018 **P5**

警報器普及の取り組み **P8**



警報器特集

保安確保の 最後のとりで

都市ガス小売り全面自由化後1年が経過したが顧客の保安を確保する「最後のとりで」としてガス警報器の重要性は変わらない。今回の警報器特集は、高い更新率を維持する大阪ガスのサービスショップ「北野田ガスセンター」を取材するとともに、ガス警報器工業会（GKK）の重盛徹志会長にガス警報器を普及させる意義などを聞いた。都市ガス用警報器の出荷動向や各都市ガス事業者に対して行ったアンケートの結果も併せて掲載する。

北野田ガスセンター

更新率向上に注力 大阪ガス協力店でトップ

ガス警報器の普及率を向上させるためには、開栓時の取り付け提案のほか、交換期限時の更新提案が重要になる。北野田

の両目標は毎年達成している。

だけのよう丁寧なガス警報器の有効性を説明した後に更新を提案するよう工夫しています」とお客さま保安グループの中尾氏は語る。

会えるまで訪問

一方、1週間以内に2回電話しても不通だった顧客や、電話会社の変更などで電話がつかない顧客はアポイントなしで訪問する。最近では固定電話を契約せず、携帯電話だけの顧客も多い。覚えのない番号からの着信だと気付いても無視する人も増加している。

約が大半を占めており、更新されない場合でも取り外しのために訪問する必要があるため、顧客と直接話す機会が生じる。これまでガス警報器が鳴ったことがなく必要性を感じられないと更新を渋る顧客も少なくない。その際、中尾氏は持参したガス警報器を顧客の前で鳴らして、警報音を聞かせる。ガス警報器が作動する状況をイメージし、顧客は、更新の必要性を理解しやすくなる。



中野取締役店長

訪問提案を重視

同店では警報器の更新作業を3カ月ごと、四半期に分けて行っている。交換期限の1〜3カ月前に、大阪ガスが交換期限を知らせるダイレクトメール（DM）を送送する。DMを見て、北野田

ガスセンターに警報器の取り換えを依頼する顧客は全体の数%と少ない。そこで北野田ガスセンターから顧客に対し、電話で更新を依頼する。通話できた顧客の約半分は、更新を即決する。

「対面した際には、安心してガスをお使いいた



中尾氏

「交換期限が近づくと不在宅に置いてくるチラシの文章も変えていきます。諦めず何回も訪問するとお客さまから連絡してもらえます。それ以外に高い更新率を維持する方法はありません」と

今後、住宅着工件数の増加が見込めず、開栓時の提案機会が減るため、ガス警報器普及率を向上させることが難しくなる。同店では高い更新率を安定して維持することで、徐々に普及率を上げることが目指している。

同店ではガス警報器の更新作業終了後、顧客の困りごとをヒアリングし、顧客の理解を得てからガス機器等の提案を行う。最近では安全機器として、取り扱っている消火器の設置提案にも注力している。

顧客の要望に応じて最新のガス機器の紹介も実施することでガス警報器更新で訪問した顧客がピルトインコンロを取り換えてくれる場合もあるという。

17年4月の都市ガス小売の全面自由化以降、同店の営業エリアでもガス



笹田氏

お客さま保安グループの笹田裕樹氏は話す。

警報器の有効性をPR

ガス警報器
工業 会

重盛徹志会長に聞く

の購入先を大阪ガスから新規参入者にスイッチングした顧客はいるが、ガス警報器のリースはそのまま継続し、ガス機器も従来通り同店から購入している。

「今後もガス警報器の新規設置や更新でお客さまの安心・安全を実現しつつ、お客さまとの接点を大切に、地域密着の信頼される会社として発展していきたいです」と中野取締役は語る。

自由化に合わせた国は
自由化から1年経ちまし
た。

自由化に合わせた国はガス小売事業者自主保安促進制度を立ち上げました。その一環として消費者がガス事業者を選択する際の情報をインターネットで提供する「ガス小売自主保安比較サイト」が開設されました。そこには制度に参加している都市ガス事業者の保安レベルが表示されています。GKKはこの取り組みに委員として参加しており、都市ガス事業者の保安レベルの決定に関与しています。

このサイトでの保安レベルは2〜3段階で表示されています。もし都市ガス事業者ごとのガス警報器普及率が公表されれば、数値で示される客観的な指標になると思います。まだ数は少ないですがガス警報器を取り扱っ



新規参入者もあります。保安とサービスの高さを前面に押し出した健全な競争を促進してほしいと考えています。

ガス警報器の普及率が上がると、保安の向上により事故が減少し、販売やリース料が増えるという良いことづくめです。GKKは安心・安全を進めるため、行政や消費者団体、日本ガス協会などにガス警報器の有効性を訴え続けていきます。

PR活動に力を入
れています。

発生したガス事故を見ても、ほとんどの場合ガス警報器が設置されていません。その理由の一つとして、ガス警報器の有効性を知らない人が多いのではと感じています。そこでGKKではサイトに「プロが遭遇したガス警報器の奏功事例」を以前から掲載しています。

さらに今年からはガス

エネルギー新聞の警報器特集の内容をPDFにした「ガス警報器白書2017」も掲載しています。

GKKの会員企業にタウロードしてもらって、ガス警報器の普及活動に活用してもらおうのが狙いです。昨年度よりインターネットを使ってガス警報器を理解していただく動画を見てもらってから、アンケートに回答いただく、プレゼントキャンペーンも行っています。

火災・二酸化炭素(CO)警報器の普及にも注力しています。

16年から住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。10年が経過し、普及率は8割を超えました。火事による死者数は05年の1220人から17年には885人にまで減りましたが、下げ止まっています。

消防の統計によると火事による死者のうち、4割はCO中毒が原因だそう。一般的な住宅用火災警報器は、COを検知できません。GKKは煙とCOの両方を検知で

きる火災・CO警報器の有効性を訴えています。今後はガス漏れや火災、CO中毒だけでなく、熱中症など家庭内の安心・安全はすべて見守ることができる多機能型のガス警報器が、普及率向上には必要でしょう。GKKの技術委員会では、モノのインターネット(IoT)時代に合ったガス警報器のあり方も検討しています。

海外への普及は。

アジアでは都市ガス、LPガスの普及拡大に伴い、事故が増加しており、日本の高品質で高性能なガス警報器に注目が集まっています。GKKはアジアを中心に海外の展示会に出展することを考えており、21年に韓国で開催予定の世界ガス会議にはブースを出すことを検討しています。

ガス機器メーカーは国内市場が頭打ちのため、海外比率を高める傾向にあります。ガス警報器メーカーも今後は海外展開を強化する企業が増えると思います。

GKK 18年度の普及に向けた取り組み 独自キャラクターを制作

ガス警報器工業会(GKK)は今年度の普及拡大に向けた周知活動の一環として、オリジナルキャラクターとして警報器の「保安」にかけた名称のパンダ「ほあんほあん」のポスターを制作した。

ほのぼのとした表情の「ほあんほあん」は昨年同様にポスターの表裏に描かれており、「家族を守るのはガス警報器」。「ガス警報器の交換期限は5年です」とエンドユーザーにガス警報器の使用を呼びかけている。GKKは5万枚を作成し、5月上旬に関係団体に配布した。

昨年に引き続き、インターネットを利用したプレゼントキャンペーンとアンケートを4月1日から5月21日まで実施した。アンケート結果は冊子にまとめて、関係団体に配布する予定だ。キャンペーンのサイト



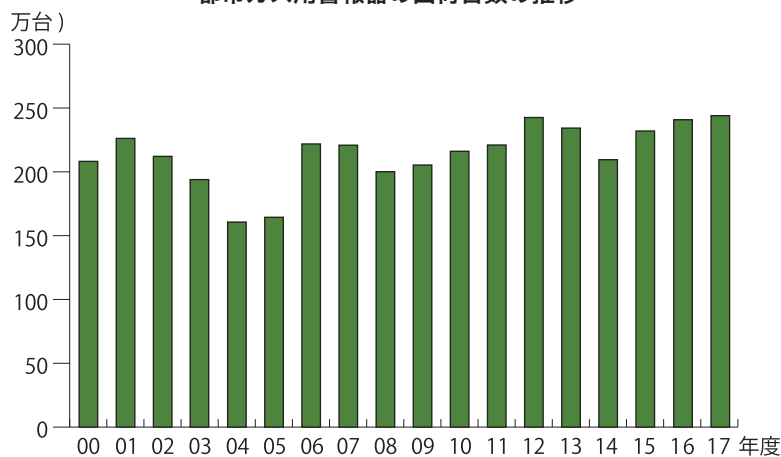
上で、一般のガス需要家を対象に「ガス警報器設置の有無」過去にガス漏れなどでガス警報器が鳴ったことはあるか「今までガス警報器が鳴って助かった事例について記述して下さい」といった設問に答えると、抽選で景品が当たるというものだ。

「ガス警報器工業会(GKK)は、ガス警報器の交換期限が5年であることから、5年前の出荷台数などのデータも比較している。5年前の出荷台数は6年連続で増加しており、ガス警報器の更新が着実に進んでいるとみられる。」

都市ガス用警報器
3年連続で出荷数増

2017年度の都市ガス用ガス警報器の出荷台数は前年度比1・8%増の244万台だった。各都市ガス事業者の日常的な取り換え促進の提案活動が、出荷増加に結びついたと考えられ、3年連続の増加となった。244万台のうち18万8000台は業務用換気警報器が占め、前年同期比で15%増加した。

都市ガス用警報器の出荷台数の推移



【都市ガス警報器アンケート2018】

ガスエネルギー新聞は、全国 202 の既存都市ガス事業者を対象に、ガス警報器の取り付け台数や普及策などを聞くアンケートを 2017 年度末にかけて実施。146 事業者から回答を得た。回答事業者のガス警報器普及率の平均は 35.7%、普及率が 70% 以上の事業者は 14 事業者だった。各ガス事業者は、ガス展のほか、メーター取り換えや定期保安巡回などあらゆる接点機会を活用して、ガス警報器の普及率向上に取り組んでいる。

事業者名	ガス漏れ警報器取り付け台数	普及率 (%)	普及率の対前年度比の増減 (%)	CO検知機能付き取り付け台数	CO検知機能付き普及率 (%)	火報・CO機能付き取り付け台数	火報・CO機能付き普及率 (%)	業務用換気警報器取り付け台数	業務用換気警報器普及率 (%)
東京ガス	2,621,914	32.8	—	1,475,767	56.3	648,705	24.7	178,727	98.9
大阪ガス	2,996,701	52.0	-1.2	2,487,262	83.0	1,048,845	35.0	129,520	99.1
西部ガス	442,157	46.0	0.1	371,505	84.0	252,815	57.1	12,738	98.3
京葉ガス	198,835	23.6	0.0	96,156	48.4	79,360	39.9	6,771	93.0
北海道ガス	200,605	42.0	-0.4	190,471	94.9	33,249	16.6	3,370	81.9
広島ガス	118,357	31.5	-0.5	117,174	99.0	7,055	5.9	5,600	92.3
仙台市	128,265	46.7	0.2	77,850	60.7	27,104	21.1	3,998	79.9
北陸ガス	137,023	41.3	-0.8	5,481	4.0	130,720	95.4	3,126	—
静岡ガス	224,624	77.8	-1.1	12,683	5.6	157,107	69.9	38	0.5
四国ガス	124,560	53.1	2.0	90,811	72.9	9,613	7.7	4,792	72.6
東部ガス	64,887	33.3	0.3	14,723	22.7	26,168	40.3	888	28.4
中部ガス	158,554	77.4	-0.8	2,839	1.8	72,416	45.7	2,839	82.0
武州ガス	81,186	37.8	-0.4	15,154	18.7	29,705	36.6	842	35.6
山口合同ガス	138,064	87.0	-1.4	90,245	65.4	25,100	18.2	3,093	86.5
大多喜ガス	48,135	30.2	0.1	47,997	99.7	34,993	72.7	841	94.7
日本ガス	39,827	32.4	-1.7	5,901	14.8	31,065	78.0	1,218	94.9
岡山ガス	53,654	49.8	3.9	28,624	53.3	22,674	42.3	2,134	97.4
東彩ガス	88,029	49.6	2.9	57,062	64.8	7,309	8.3	4	0.0
釧路ガス	23,534	38.4	-0.3	14,498	61.6	1,156	4.9	2	0.0
旭川ガス	32,714	29.5	0.4	24,356	74.5	3,959	12.1	2	0.0
滝川ガス	2,510	47.8	1.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
美唄ガス	3,508	102.0	0.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0
岩見沢ガス	1,596	60.6	1.3	18	1.1	6	0.4	7	2.0
帯広ガス	8,564	32.7	-1.0	259	3.0	239	2.8	3	0.0
苫小牧ガス	6,624	30.6	0.9	4,159	62.7	135	2.0	0	0.0
室蘭ガス	4,768	17.9	-1.1	3,944	82.7	32	0.1	23	0.1
長万部町	640	58.2	-1.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0
青森ガス	11,069	64.7	-0.9	103	0.9	26	0.2	42	5.4
五所川原ガス	395	26.4	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
弘前ガス	8,125	55.4	0.7	0	0.0	5,912	72.8	0	0.0
十和田ガス	3,568	91.7	0.0	44	1.2	44	1.2	24	100.0
八戸ガス	10,380	68.6	0.0	157	1.5	1,204	11.6	0	0.0
黒石ガス	3,581	89.1	0.6	0	0.0	0	0.0	3	3.0
盛岡ガス	25,794	64.9	0.0	0	0.0	211	0.8	982	99.2
花巻ガス	1,751	55.0	0.6	0	0.0	1	0.1	86	—
東部液化石油	168	39.3	-5.6	168	100.0	0	0.0	1	33.3
男鹿市	3,642	34.0	1.0	0	0.0	104	1.0	21	23.0
にかほ市	483	9.5	0.9	458	94.8	451	93.4	7	7.1
酒田天然ガス	6,423	57.1	0.2	596	9.3	2,972	46.3	17	12.1
鶴岡ガス	8,323	55.6	-1.2	1	0.1	7,274	87.4	100	20.0
寒河江ガス	529	66.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
山形ガス	12,310	64.3	1.6	10,012	81.3	1,551	12.5	87	10.1
庄内中部ガス	1,698	33.0	1.8	1,507	88.8	1,047	61.7	4	3.4
庄内町	511	8.1	-0.3	0	0.0	173	33.8	12	19.0
古川ガス	2,795	60.0	-0.8	0	0.0	1,937	69.3	6	3.3
石巻ガス	7,813	70.1	-6.5	2,838	36.3	2,010	25.7	146	92.0
塩釜ガス	5,774	56.7	-0.6	3,155	54.6	2,515	43.5	63	28.8
福島ガス	9,784	26.1	-7.2	0	0.0	1,316	13.5	441	28.8
若松ガス	1,965	11.5	1.3	1,794	91.3	1,498	76.2	117	6.0
東北ガス	1,271	33.0	-0.4	0	0.0	529	41.6	62	59.0
常磐共同ガス	9,171	64.2	-2.1	9,004	98.1	8,482	92.4	93	100.0
新発田ガス	1,893	5.2	-1.0	17	0.8	1,876	99.1	38	4.3
越後天然ガス	8,075	23.7	-1.5	740	9.2	7,335	90.8	510	100.0

【都市ガス警報器アンケート2018】

事業者名	ガス漏れ警報器取り付け台数	普及率 (%)	普及率の前年度比の増減 (%)	CO検知機能付き取り付け台数	CO検知機能付き普及率 (%)	火報・CO機能付き取り付け台数	火報・CO機能付き普及率 (%)	業務用換気警報器取り付け台数	業務用換気警報器普及率 (%)
蒲原ガス	6,809	21.6	0.3	6	0.1	6,786	99.7	32	100.0
見附市	240	2.0	-0.2	0	0.0	199	82.9	0	0.0
柏崎市	3,869	12.6	-0.4	3,869	100.0	3,869	100.0	0	0.0
小千谷市	3,853	36.9	-5.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
魚沼市	2,362	30.5	-0.6	0	0.0	2,092	88.6	0	0.0
上越市	1,306	2.8	-1.0	440	33.6	701	53.7	361	34.9
妙高市ガス	186	2.5	0.0	31	16.7	31	16.7	155	99.4
糸魚川市	300	2.2	0.5	—	—	—	—	120	100.0
白根ガス	1,738	6.6	0.0	0	0.0	1,738	100.0	422	100.0
栄ガス消費生活協同組合	7	0.2	0.0	1	14.0	6	80.0	0	0.0
佐渡ガス	1,240	83.2	-2.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
栃木ガス	456	15.9	-1.2	314	68.9	295	64.7	1	0.4
北日本ガス	14,526	44.2	4.0	129	0.9	162	1.1	9	2.7
足利ガス	3,936	27.3	2.9	3,902	99.1	3,902	99.1	216	55.4
佐野ガス	807	11.2	—	1	0.1	121	14.9	103	100.0
桐生ガス	1,509	6.5	0.9	101	6.7	822	54.5	482	98.8
館林ガス	1,854	25.5	0.1	0	0.0	178	0.1	39	73.5
伊勢崎ガス	2,448	22.0	-1.3	1,175	48.0	209	8.5	158	93.7
太田都市ガス	396	3.6	-0.1	11	2.7	2	0.5	0	0.0
下仁田町	50	4.0	—	0	0.0	0	0.0	30	—
本庄ガス	434	3.5	0.0	0	0.0	197	45.3	322	98.8
坂戸ガス	3,902	12.1	-1.3	1,816	46.5	1,957	50.2	282	94.0
入間ガス	1,973	11.1	-2.0	1,539	78.0	289	14.6	103	29.8
鷲宮ガス	1,299	13.0	-1.3	0	0.0	668	51.4	22	78.0
新日本ガス	20,640	29.5	0.0	4,983	24.1	4,983	24.1	192	47.0
武蔵野ガス	191	3.9	-0.2	8	4.1	16	8.3	1	1.9
大東ガス	20,257	18.4	-0.2	16,141	79.6	256	1.2	372	95.0
堀川産業	104	1.1	0.0	0	0.0	0	0.0	107	19.7
フジオックス	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
角栄ガス	7,126	41.5	-1.4	707	9.9	3,984	55.9	64	56.1
野田ガス	2,031	10.3	0.3	15	0.1	332	16.3	188	100.0
銚子ガス	246	12.8	8.9	0	0.0	8	3.2	26	50.0
総武ガス	210	9.6	5.0	—	—	—	—	—	—
大網白里市	401	3.4	-0.1	9	2.2	10	2.5	0	0.0
習志野市	11,681	16.3	-0.1	5,121	43.8	3,210	27.4	2	0.1
東日本ガス	19,612	24.8	-1.5	15,593	79.5	13,005	66.3	368	18.7
京和ガス	3,880	7.8	0.2	1,417	36.5	379	9.7	313	78.2
長南町	418	9.1	0.0	209	50.0	209	50.0	0	0.0
日本ガス(ニチガス)	3,825	5.9	-27.3	1,180	30.8	513	13.4	299	21.3
昭島ガス	4,724	16.1	-0.2	1,112	23.5	154	3.3	304	100.0
青梅ガス	1,300	6.5	-0.3	869	66.8	322	24.7	149	97.0
武陽ガス	2,169	7.2	-2.0	636	0.3	191	0.1	268	26.3
長野都市ガス	17,078	19.6	3.5	716	4.2	13,315	77.9	3,215	96.1
大町ガス	411	30.2	0.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
上田ガス	10,115	33.8	-0.1	11	0.1	10,003	98.8	708	98.0
諏訪ガス	7,746	39.6	-0.2	267	3.4	6,326	81.7	63	7.1
厚木ガス	20,089	40.9	-1.8	183	0.9	18,795	93.5	450	95.9
秦野ガス	4,670	35.6	5.5	3,569	27.1	1,008	7.6	154	100.0
小田原ガス	13,838	38.3	0.7	10,879	78.6	1,445	10.4	307	98.9
湯河原ガス	339	11.2	-2.1	2	0.5	0	0.0	1	0.8
吉田ガス	5,454	79.4	0.0	33	0.6	5,292	97.0	0	0.0
東京ガス山梨	7,013	28.9	0.2	7,011	99.9	3,935	56.1	837	100.0

【都市ガス警報器アンケート2018】

事業者名	ガス漏れ警報器取り付け台数	普及率 (%)	普及率の対前年度比の増減 (%)	CO検知機能付き取り付け台数	CO検知機能付き普及率 (%)	火報・CO機能付き取り付け台数	火報・CO機能付き普及率 (%)	業務用換気警報器取り付け台数	業務用換気警報器普及率 (%)
熱海ガス	8,898	58.2	-1.2	2,455	27.5	2,122	27.5	175	62.0
伊東ガス	4,628	55.9	-5.7	0	0.0	3,372	72.9	107	100.0
下田ガス	1,479	71.8	-1.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
御殿場ガス	2,306	68.7	6.2	157	6.8	107	4.6	129	27.6
島田ガス	2,676	63.6	-1.0	2,583	96.5	0	0.0	15	93.8
中遠ガス	5,689	68.2	-8.4	5,262	92.5	5,262	92.5	3	0.7
袋井ガス	2,201	68.5	1.5	549	24.9	429	19.5	2	2.1
犬山ガス	2,630	31.5	0.5	958	36.4	1,433	54.4	140	100.0
津島ガス	1,191	22.2	3.6	32	2.7	686	57.6	4	57.1
上野都市ガス	5,338	53.3	-1.5	3,956	74.1	3,766	70.6	52	7.4
名張近鉄ガス	7,589	52.6	-0.3	28	0.4	2,483	32.7	351	91.3
甲賀協同ガス	1,749	91.1	-0.2	0	0.0	0	0.0	3	12.0
大垣ガス	2,422	16.0	0.0	1,849	76.3	1,677	69.2	106	36.3
日本海ガス	18,959	30.4	-0.1	17,763	93.6	17,763	93.6	512	85.0
高岡ガス	4,346	34.4	0.9	0	0.0	1,126	25.9	81	26.3
金沢市	7,889	12.7	-0.1	735	9.3	2,307	29.2	62	4.4
小松ガス	3,382	37.3	-1.0	0	0.0	1,022	30.2	185	96.3
福井市	7,008	33.6	-0.2	1,789	25.5	833	11.9	0	0.0
越前エネライン	1,300	28.0	5.4	0	0.0	7	0.5	6	3.0
丹後ガス	501	24.0	8.9	325	64.9	325	64.9	36	50.0
福知山都市ガス	477	8.6	0.0	328	68.7	115	24.1	103	80.4
長田野ガスセンター	360	40.3	-2.1	250	69.4	250	69.4	35	100.0
大津市	22,467	23.2	1.0	8,221	36.6	382	1.7	0	0.0
大和ガス	14,834	23.7	0.2	2,268	15.2	2,308	15.5	452	70.2
五条ガス	803	35.2	2.5	23	2.9	764	95.1	2	12.5
桜井ガス	1,783	29.8	0.2	66	3.7	74	4.1	47	100.0
新宮ガス	547	16.5	-0.3	505	92.3	505	92.3	76	100.0
大武	1,397	53.4	-1.4	0	0.0	701	50.1	0	0.0
河内長野ガス	8,464	39.7	0.3	4,257	50.3	3,890	46.0	155	100.0
豊岡エネルギー	2,631	35.2	-3.1	1,466	55.7	1,107	42.1	294	98.0
篠山都市ガス	462	18.9	0.7	0	0.0	302	65.3	51	96.2
伊丹産業	700	33.8	-0.1	632	90.2	0	0.0	50	100.0
津山ガス	3,188	49.5	-0.1	3,164	99.2	303	9.5	3	0.4
水島ガス	8,264	41.9	1.7	599	7.2	6,975	84.4	342	100.0
福山ガス	15,751	36.0	-0.4	161	1.0	15,546	98.7	495	90.6
因の島ガス	1,862	43.6	0.8	810	43.5	810	43.5	12	44.4
松江市	3,926	29.8	0.7	408	10.3	62	1.6	5	1.2
出雲ガス	4,211	85.0	0.0	0	0.0	3,940	93.6	68	-
浜田ガス	2,710	44.0	-7.1	1	0.0	2,689	99.2	71	40.0
久留米ガス	5,045	20.0	0.4	1,882	37.3	292	5.7	322	98.3
大牟田ガス	4,730	46.0	-1.0	4,077	86.2	653	13.8	171	98.8
筑紫ガス	19,820	54.6	-0.8	19,594	98.8	155	0.7	228	97.6
唐津ガス	2,403	29.1	0.4	0	0.0	259	10.7	104	99.5
佐賀ガス	2,510	13.9	-0.3	1,766	70.4	320	12.7	252	100.0
鳥栖ガス	5,067	49.0	-	6	1.2	4,093	80.7	80	82.4
エコア	1,388	58.0	19.5	43	3.1	6	0.4	82	100.0
宮崎ガス	30,355	42.4	-2.0	29,711	97.9	503	1.7	1,290	78.9
南日本ガス	1,849	14.9	-0.6	0	0.0	0	0.0	198	78.9
加治木ガス	357	7.3	-0.3	56	15.7	18	5.0	31	100.0
国分隼人ガス	1,605	80.0	-4.7	607	37.8	998	62.2	17	94.4
出水ガス	863	72.2	0.2	445	51.6	0	0.0	9	18.0
沖縄ガス	32,860	56.0	-1.4	0	-	0	-	745	88.0

【 警報器普及の取り組み 】

東京ガス

当社は顧客の接点機会を活用し、警報器設置を助めている。交換期限を迎える顧客へ案内することで普及率向上に努めている。特に屋内設置の温水機器を所有する顧客を対象に、ガス・CO 警報器の設置による多重安全化を進めており、2017年度は11～12月の2カ月間に警報器普及キャンペーンを実施している。

大阪ガス

家庭用＝供給エリア内の警報器の普及率は約50%で横ばい傾向。警報器のさらなる普及拡大に向け、有効期限を迎えた警報器の更新率向上と開栓業務等の業務機会での新規取り付け、定期保安巡回時のお勧めに注力。

業務用＝2009年1月より業務用換気警報器(COセンサー)無償貸与施策を展開し、現在も無償貸し出しを継続することで、業務用厨房の保安・安全レベルの向上を図っている。

東邦ガス

機器販売時・修理時などにおける警報器の設置提案。ガス展等のイベントにおける警報器のPR。有効期限を管理した上で、適切な更新提案。

西部ガス

入居開栓や法定点検等の顧客との接点機会を利用して新規取り付け・期限切れ取り換えを促進する。集合分譲住宅管理組合への営業を継続し、期限切れ一括取り換えを促進する。

京葉ガス

キャンペーンの実施(ガス機器、でんき等との組合せ販売促進)、定期保安巡回や開栓、検針など各種業務機会を通じて顧客にお勧めしている。

北海道ガス

各種業務機会を利用した普及促進。リース制度の活用。

広島ガス

期満警報器については、顧客宛てに期満が近づいている旨の周知ハガキを送付して事前案内するとともに、継続設置の提案を行っている。未設置の顧客には、修理訪問等の接点機会を活用し、設置提案を励行している。

仙台市

更新率向上に向けて有効期限満了前の事前電話連絡による案内を行っている。開栓やガス設備点検、メーター期満交換などの業務機会を活用してガス警報器設置・交換のお勧めを行っており、特に開栓時に設置されなかった顧客については、開栓2カ月後にダイレクトメールによるフォロー案内を送付し、普及率向上に努めている。

北陸ガス

開栓の機会を利用したガスショップによる提案および取り付け勧誘。定期保安巡回の機会を利用した提案および取り付け勧誘。検針時のPRチラシ配布。期満需要家に対する事前DM送付する等で確実に更新。快適ウォッチのPRを行い、今まで都市ガス警報器を設置していなかった需要家に対し、付加価値をアピールすることで普及率向上を目指している。

四国ガス

訪問機会(開栓、器具販売、故障修理等)において、チラシを活用した声かけ運動の徹底を行い警報器設置の重要性をPRしている。期満更新においても同様に、重要性をPRした巡回強化および未更新の顧客へのフォロー、追跡を行い更新率向上に取り組んでいる。

東部ガス

CO 検知機能付きの警報器の普及促進を実施。新規設置を目的に、接点業務機会でのCO 検知機能の重要性を顧客に伝え、設置提案を実施。満期交換時にガス警報器からCO 検知機能付きへのグレードアップの徹底を実施。

中部ガス

3月～5月に警報器キャンペーンと称して販売強化を図る。年間を通して家庭用警報器普及率の維持、業務用警報器の普及率アップを目指す。

武州ガス

普及率の向上を第一の目標としている。顧客との最初の接点となる開栓時をはじめ、定保、機器販売や修理、経年管入替折衝時などに必ず設置を助めている。CO や火災機能付きの複合型タイプに加え熱中症と乾燥を知らせるタイプの取り付けも促している。

山口合同ガス

あらゆる業務機会を通じて、未設置や期限切れ警報器設置の顧客に折衝を行っていく。また、新規設置や更新時には、複合型警報器の設置を勧め、保安レベルの向上・普及率アップに向けて取り組んでいる。

大多喜ガス

あらゆる業務機会での顧客に周知・提案し、普及活動を図っている。

日本ガス

満期お知らせハガキの内容変更。満期切れ警報器が設置されている顧客への再取り付け促進。他社取り付け分の調査と満期管理。

岡山ガス

開栓時、法定点検時・修理等顧客訪問を接点とした周知・新規取り付け・取り換えの促進。近年、普及率は50%前後で推移している。既存取り付け分の満期時における周知と確実な取り換え更新を促進するために、17年6月より対象の顧客に岡山ガスから満期取り換えハガキの郵送を開始し、顧客への警報器に対する意識向上を図っている。

東彩ガス

コールセンターでは全ての開栓依頼に対して警報器の設置をPRしており、開栓を行う社員に対して顧客情報を伝達し設置を促進している。開栓が集中する年度末を前に「開栓業務コンテスト」を毎年実施している。

コンテストには内管検査・消費機器調査に加え、ガス漏れ警報器の設置も対象になっており成功事例を共有している。

釧路ガス

定期保安巡回・開栓業務作業時などあらゆる業務機会での普及を図る。警報器の有効期限が切れる際の継続更新を図る。漏洩出動時に警報器未設置の顧客へ警報器の設置を提案する。

旭川ガス

定期保安点検、ガスメーター検満取り換えを中心に新規勧誘や取り換えを実施。集合住宅オーナーへの新規勧誘を専属要員にて実施。警報器に関するPRチラシを自社制作し活用。検針時に配布する自社広報誌「ガスだより」の紙面でPR。全体として更新率の高いリース警報器を積極的にPR。

滝川ガス

あらゆる業務機会において警報器の普及を進めている。ま

【 警報器普及の取り組み 】

た、有効期限満了需要家の警報器交換・再契約を進めて、普及促進に努める。

美唄ガス

対策方針=既にガス漏れ警報器はリース契約で、ほぼ100%普及、住宅用火災・ガス・CO 警報器 (LP ガス) 一体型の製品があれば普及させたいと考えている。対策状況=ガス漏れ警報器については、期限管理を行い、計画的に取り換えを実施している。

岩見沢ガス

開栓時や定期保安巡回など、顧客と面談する機会を活用して、ガスをより安全・安心に使ってもらうため警報器の必要性をアピールして普及させていく。

帯広ガス

開栓時、修理時等の訪問時に設置のお願いをする。単体警報器の更新時には複合型への取り換えを促進する。

苫小牧ガス

ガス開栓時のリース継続・取り換え推進。ガス警報器リース交換期限による巡回取り換えの推進。

室蘭ガス

期限切れ前月に、対象顧客に取り換え時期のお知らせ DM を発送。火災警報器単体のリースを採用しガス漏れ警報器とセットでの普及を狙う。

長万部町

定期的な広報掲載と法定点検時における普及促進。

青森ガス

各業務機会を通じて警報器の新規取り付け、更新をお願い。

五所川原ガス

開栓・定期保安調査等の顧客と対面時に取り付けのお願いをしている。

弘前ガス

開栓・定保時の PR。

十和田ガス

供給開始時点検の機会等に警報器の交換期限を確認、取り換えや新規取り付けをお願いし普及に努めている。

八戸ガス

安全周知チラシなどを利用した PR・顧客へのガス使用開始時、器具修理等の訪問等、業務機会を通じ、未設置の顧客へ PR を行っている。

黒石ガス

新築、リフォームの際は警報器設置を必須とし、ガスメーターとの連動を進めている。なお、期限切れ対策としてリースで提供している。

盛岡ガス

定期保安巡回、開栓時、その他業務機会に提案している。更新時期限切れ前にお知らせハガキを送付し訪問を行っている。

花巻ガス

既設置先での継続率は高いが、未設置先での新規設置数が非常に少ないので、この対策が課題である。

東部液化石油

業務機会訪問時やガス器具展示会等で安全性、必要性を説明し、現金、リース販売にて取り付けを促進。

男鹿市

ガス展等業務機会に PR しているが、普及促進にはつながっていない。

にかほ市

ガス展等のイベント時のパネル展示や、チラシの配布により周知。顧客から理解を得られるよう努めている。

酒田天然ガス

年間新規成約目標を設定 (部署・個人別)。年間セールス表彰制度の運用。

鶴岡ガス

快適環境お知らせ機能付警報器を採用し安心・安全以外の付加価値による普及率向上を図る。

寒河江ガス

定期保安調査時や経年機器を保有する需要家への訪問時に勧めている。

山形ガス

開栓時、定期保安調査時、顧客訪問時他、あらゆる場面で警報器取り付け促進に努めている。業務用 CO 警報器に関し担当者とのつながりを密にし、メンテナンス訪問時等のあらゆる場面での取り付けをお願いしている。

庄内中部ガス

ガス展示にデモ機による実演。開栓時に警報器設置のお願い。ガス器具設置時、器具修理時等でのプラスワン営業。消費機器調査終了後に警報器の説明と設置のお願い。

庄内町

開栓時・消費機器調査時等、需要家と接する機会で警報器の紹介、企業課広報誌にて紹介している。

古川ガス

定期保安巡回だけでなく、ガス使用開始 (開栓) などの機会を利用して取り付けをお勧めしている。今年も、継続して顧客のガスへの安全安心の向上のために取り付けを勧めている。

石巻ガス

新規取り付け者に対し、リース料金 1 年間無料サービスを行っている。

塩釜ガス

開栓時および定期保安調査時の設置のお願い。

福島ガス

ガス開栓時と検針時にチラシや広報誌等で PR を行っている。警報器更新の顧客には、1~2カ月前に更新案内を送り、更新していただけるように周知を図っている。

若松ガス

期限切れが近づいている顧客に往復はがきを送り、連絡のない方には電話をして継続のお願い。

東北ガス

点検、機器修理および販売時の業務機会を捉え警報器の必要性を顧客に理解してもらい、普及促進に努める。

【 警報器普及の取り組み 】

常磐共同ガス

開栓時の積極的なアピールの実施。警報器未設置リストを作成し、検針時に声掛けをして設置を促す。

新発田ガス

業務用厨房の顧客へ CO 警報器のモニター設置をお勧めしている。(初回 5 年間のみ。有効期限以後も継続・無償取り付けを検討中)。独り暮らし高齢者の顧客を対象に定期保安巡回等の際に保安対策として複合型警報器の無償取り付けを勧めている。

越後天然ガス

チラシを作成し、法定点検や開栓時に説明・勧誘を行っている。量販店などでの警報器の販売価格が非常に安価のため、自社での火報・CO 検知機能付きガス漏れ警報器の販売の妨げとなっている。

蒲原ガス

付帯契約型選択約款「都市ガス警報器リース新規契約割引」を新設。開栓時、定期保安検査時等に PR 強化。警報器期限満了時の交換訪問での継続営業強化と新商品 PR。新築、リフォーム等のガス工事見積時での警報器チラシ等による PR。ガス展において実機による PR。

見附市

安全型機器の普及により、ガス漏れ発生リスクは以前と比べ減少したが、高齢者の増加などによる誤使用や誤接続に起因したガス漏れ対策は必要であり、ガス漏れの早期発見に有効である警報器の普及を図っている。

小千谷市

新築やガス設備更新、開栓時に警報器設置のお願い。警報器設置、期限切れ警報器更新など、需要家へ PR しているが進まない状況。

魚沼市

ガス水道フェア(年 1 回開催)での展示・紹介。市役所の各庁舎にポスター掲示。開栓時に設置のお願い。リース申込書の配布。期限切れ警報器設置施設の再開栓時交換依頼。定期保安点検時に未設置需要家にチラシ配布。

上越市

ホームページやガス展等のイベント時に普及促進を行っている。定期保安調査時に期限切れや未設置の需要家に、取り換え、設置を勧めている。

妙高市ガス

内管工事申し込みの際、警報器も設置してもらおうようお願いしている。

糸魚川市

定期保安検査時、ガス水道フェア等の需要家と接する機会、定期周知パンフレットを利用し、設置を推奨。

白根ガス

自社と委託業務機会を通じ、設置促進を図っている。ガス展や地域の防災訓練で PR 活動を行っている。快適ウォッチの新規採用を検討中。

栄ガス消費生活協同組合

定保時等あらゆる業務機会を利用し、顧客の意識向上に努めている。

佐渡ガス

新設時には必ず取り付けを行っている。未取り付け需要家に対しては保安巡回等あらゆる業務機会を通じて取り付け促進を行っている。

栃木ガス

既に設置済みの顧客を対象に警報器の有効期限前にダイレクトメールの送付。定期保安点検、開栓、修理等の日常業務機会を活用し、顧客へ周知。ガス展、イベント、キャンペーン等のチラシに掲載し普及を図っている。

北日本ガス

開栓時に必ず顧客にお願いをすることと、ありきたりではあるが催しを行う際には、必ず保安コーナーを設置しアピールを行っている。

足利ガス

普及策＝新設物件：設計段階で全件提案見積もりを実施。既設物件：開栓時と定期保安点検時に警報器の設置を提案。官公庁物件：管理者への警報器の設置を提案。期限管理＝基幹システムにより警報器の期限情報を管理。期限切れ対象物件へ取り換えを提案。

佐野ガス

9～11 月までの 3 ヶ月間、セーフティキャンペーンと称し割引販売を行い警報器の普及を行っている。また、有効期限切れの顧客に対して DM でお知らせし、取り換えを進めている。

桐生ガス

一般家庭用＝定期保安巡回時以外にも全社を挙げて、直接顧客と対面する営業機会・ガス展などの催しごとに「快適ウォッチ」等、新型警報器の紹介も含め安全のための警報器の必要性を説明し普及率向上を目指す。業務用＝CO 警報器の更新時期を迎えており、対象需要家を順次取り換えている。

館林ガス

ガス展・催事等また、業務機会に PR の実施。

伊勢崎ガス

開栓時および接客業務時の販売促進。期限切れの警報器所有の顧客へ DM を送付。新規取り付けおよび交換台数の目標を設定し、販売促進。

太田都市ガス

警報器普及率が 3.6%と低いと、従来のポスター展示とチラシでの推奨等、業務機会を利用した PR だけでなく、キャンペーン等を検討。

本庄ガス

業務用警報器は、対応済み。定期保安巡回時、警報器の必要性を周知、警報器チラシ配布。

下仁田町

ガス栓、ガス器具ともに安全性が向上しているが、ガス漏洩の可能性がゼロではない。警報器設置でより安全性が向上できると考えるが、現状では積極的な普及策はとっていない。

坂戸ガス

ガス漏れ警報器は、拡販チラシを作成し業務機会およびイベントを通じ顧客への安心・安全の PR を実施。特にガス使用時には新規特別価格販売を実施するなど普及促進を図っている。業務用換気警報器は、工事担当と連携し新規業務用の顧客へはガス使用開始時に設置し普及促進を図っている。

【 警報器普及の取り組み 】

人間ガス

ガス展、機器セール、訪問時に PR を行っている。

鷺宮ガス

期限切れお知らせ DM の送付。定保、他業務機会時に PR。業務用需要家は保安キャンペーン時に、安全使用の PR チラシとともに、警報器チラシを DM 送付し、店舗管理会社・オーナーへ提案。集合物件の管理組合への提案。

新日本ガス

開栓時の設置提案、および近々に交換期限が到来する警報器については交換案内書を事前に投函したうえで巡回し、交換の促進を行っている。

武蔵野ガス

ガス展、業務機会時に PR。

大東ガス

マンション管理会社との業務提携（新規顧客獲得のため）。定期保安検査、一般閉栓、ガス機器販売時等の訪問機会に設置を勧める。

堀川産業

定保時に必ず案内し、設置を促す。新築物件への警報器設置を促進。

フジオックス

客先への PR・周知。

角栄ガス

開栓時に折衝を行い、即取り付け。また、社内会議で定期的に取り付け状況を報告。

野田ガス

開栓時、定期保安巡回時 PR とチラシ配布。販売促進のため、60% オフの特別割引にて販売、年間の販売目標を決めて活動している。

銚子ガス

各種業務機会を捉え、警報器の有効性の PR と普及に努めている。

総武ガス

対策方針＝検針時など定期的な訪問時における PR を推進。日中での不在の顧客に対しての PR の強化を実施していく。対策状況等＝さまざまな機会での顧客への訪問時には、警報器の PR を行っている。

大網白里市

市広報で PR している。

習志野市

全体の普及率が 2 割程度と低いため、今後も関連会社と協力し、普及促進に努める。

東日本ガス

新規開栓申込時に必ず警報器（単、複合機）の取り付けを周知している。業務機会訪問時、定期保安巡回時に周知。地域防災フェアおよび展示会等において設置の推進を啓蒙している。

京和ガス

警報器有効期限切れを迎える顧客へ、警報器交換提案 DM・パンフレット郵送。定期保安巡回点検と入居開栓業務

時、警報器提案・販売リースパンフレット配布。

長南町

新規ガス需要家、定期保安点検時等警報器未設置の方にチラシによる周知また、警報器の役割を説明する等を促す。

ニチガス

開栓時などの業務機会に提案を行っている。ガス展等のイベント時に PR 活動や設置提案を行っている。

昭島ガス

ガス展・地域イベント等で警報器の PR 活動を実施して、警報器普及に努めている。開栓時にもパンフレットを活用し、普及促進に努めている。集合住宅等には、効期切れ前に管理会社・管理組合へ更新交換のお知らせを送付して交換折衝を行っている。

青梅ガス

「ガスと暮らしの安心」運動とガス展示会等を活用し複合型警報器の普及に努めている。

武陽ガス

開栓時や業務接点時に顧客へ提案している。効期切れ前にはハガキと電話で取り換えを勧めている。ガス漏れの早期発見が非常に重要なので、マイコンメーターと警報器の両方の設置によりさらに安全性を向上させることを目指している。

長野都市ガス

業務接点時に、チラシを有効活用し新規取り付けと取り換え提案、有効期限切れになる物件に対しては、架電を実施して普及を推進している。

大町ガス

新規の提案とともに、期限切れのフォローを確実にする。

上田ガス

定期保安巡回等あらゆる機会をとらえ周知、営業を行う。ガス展等イベント時での展示 PR を行う。

諏訪ガス

未設置の一般需要家に対し、定期保安巡回時に積極的にパンフレット等で説明、特定業務用途の需要家は定期保安巡回時と 1 年に 1 回の安全周知訪問時に設置の必要性を説明している。

秦野ガス

開栓・定期保安巡回の接客時にガス漏れ警報器のチラシを基に設置の重要性を説明し、取り付け促進を図る。車両に警報器を積載し、ワンストップで取り付けできるようにしている。

厚木ガス

開栓時・定期保安巡回・その他巡回時に安全周知の一環として警報器の提案を行う。警報器更新の事前案内 DM に合わせたアポ取りの徹底により不在率を減らす。管理組合・管理会社や賃貸オーナーに安全周知の一環として一括売り渡しの提案を行う。

小田原ガス

各種接点業務時の周知を徹底。接点業務担当者への定期的教育の実施。

【 警報器普及の取り組み 】

湯河原ガス

開栓時や定期保安巡回時の接点業務機会に自社作成の警報器チラシを配布し、警報器の必要性などを周知している。また、集合住宅の掲示スペースに許可をいただき、警報器の実機見本を設置するなど周知している。

吉田ガス

期限取り換えについては、期限切れ警報器を出さないように取り換えを推進していく。新設営業担当者と連絡を密にし、新設需要家の警報器取り付けを推進し、普及率アップを図る。

東京ガス山梨

新規設置については電池式警報器を採用し設置場所を容易にし、普及を加速していく。期限切れについては警報器の取り換え、撤去を推進する。

熱海ガス

顧客と面対した際は、必ず警報器の周知を行うよう徹底する。ガス展で熱海消防と協力し、火災警報器・ガス漏れ警報器の周知およびアンケート調査を行い、今後の普及に役立てる。

伊東ガス

複合型のリースによる設置を勧めている。

下田ガス

法定保安点検時、開栓時に未取り付けの需要家に、取り付けのお願いをしている。需要家への訪問機会を捉えて取り付けのお願いをしている。

御殿場ガス

開栓時の取り付け100%を目指す。期限切れ警報器の追跡。保安巡回時の新規開拓。

島田ガス

普及率 80%を目標に、需要家の巡回時に常に取り付けを提案。

中遠ガス

無料点検、修理訪問の接点業務時の声掛け、ガス展でのPR。

袋井ガス

開栓、定期保安巡回等の機会に未設置の需要家については、警報器の機能を説明して取り付け折衝を実施。ガス展と地域で開催される展示会等の機会を利用し、警報器設置を呼び掛け、ポスター、実機および警報音のサンプル等使用し普及活動に努めている。

犬山ガス

開栓時や定期保安点検を活用し、ガス警報器の普及に努めている。

津島ガス

有効期限切れの1ヵ月前にDMで周知した後、対象者全件にフォローの電話を入れて更新を促している。社内基幹システムの帳票に効期切れ年月を出力させて、どの業務機会でも社員に更新周知を意識付けしている。

上野都市ガス

新規物件は全て警報器を提案している。交換期限の前月に更新を促すDMを送付し、その後更新の依頼電話をすることで更新脱落を防いでいる。集合物件は、管理会社やオーナーに更新依頼をお願いしている。警報器取り換え取り付け強化月間を設け、社員全員で普及率向上を目指している。

名張近鉄ガス

火災警報器とのセット割引販売。開栓受付時にガス警報器のPR。定期保安調査時やガス機器メンテ訪問時などの業務機会に警報器チラシ配布によるPR。集合住宅オーナーへ更新をPR。

甲賀協同ガス

以前から、全ての顧客にガス漏れ警報器を無償で貸与している。

日本海ガス

担当者別の設置台数を公表しコンテスト形式で台数を競うことで提案意識の向上を図る。接点機会での提案を徹底する。機器販売とのバックなどを企画し提案の幅を拡大する。

高岡ガス

普及促進のため、快適環境お知らせ機能付警報器等の付加価値のある機種を新たに導入し、顧客のニーズに合わせた提案を行っている。

金沢市

定期保安点検時に全ての顧客に対して警報器の取り付けをお願いし、チラシ配布を実施。

小松ガス

リース、買い上げを問わず更新時期が近い顧客には地区担当者による取り換え訪問を実施している。定期保安調査やサービス業務等で訪問する際にも更新時期をお知らせし、顧客に意識していただくよう心掛けている。

福井市

業務用換気警報器の取り付け推進。広報紙等による機器のPR。

越前エネライン

ガス展示会にブースを設け、警報器設置のPRを行っている。また、業務用については、年1回のチラシ配布を行っている。

一般住宅での期限切れ機器の取り換えは進んでいるが、新規設置の伸びは小さく業務用での普及が進んでいない。集合住宅や市営住宅については、管轄不動産や市役所に期限切れ警報器の取り換えをPRし、改善が進んでいる。

丹後ガス

官舎の管理人、管理官庁に折衝し全室に設置を促す。

福知山都市ガス

公共物件については、期限を迎えるものに対し、毎年計画的に取り換えをお願いしており、年100件から150件程度を更新してもらっている。また、設置はしてあるが期限更新できていないものが1000件程度あり、その顧客については、定期保安調査などの際に取り換えを勧めている。公共物件については予算の余裕が認められる枠内でしか更新してもらえない。

長田野ガスセンター

業務用換気警報器は対象顧客に無償で取り付けている。年に1回以上作動点検を実施。

大津市

警報器普及ポスターを本市の主要施設、各支所、保育園、幼稚園、小学校等に掲示している。企業局のホームページにもポスター内容を掲載し普及促進に努めている。業務用換気警報器の普及促進を図って、一酸化炭素中毒事故防止を目指した取り組みを強化する必要がある。

【 警報器普及の取り組み 】

大和ガス

保安調査、機器の修理等、訪問時の声かけの徹底とセールチラシへの掲載、リース契約の強化中。また、取り換えについてはマンション、集合物件の家主様、管理会社への直接交渉にて更新率アップを目指している。

五条ガス

火報・CO 検知機能付のリースを中心に普及促進を実施。

新宮ガス

開栓時の周知活動を強化する。

大武

開栓や定保時には必ず提案している。販売イベント時には警報器取り付け顧客（新規、既設）には、さらに機器代割引などの施策で普及を促進。

河内長野ガス

新規取り付けについては、コールセンターでの開栓受付や機器修繕の機会に勧誘を行っている。更新は、期限切れや不在宅への対応を考慮し満期月から 1 カ月前倒しで取り換えを行っている。集合住宅については管理会社や管理組合との交渉期間を踏まえて 1 年程度前から提案活動を行っている。

豊岡エネルギー

開栓、定保時等の業務機会に警報器の設置を勧めしている。更新率アップ対策として、面対のうえ更新説明を行っている。

篠山都市ガス

自社で取り組んでいるガス集中監視システムを警報器と連動設置することを推奨し、顧客に安全と安心を提案し、警報器の普及に努めている。

伊丹産業

電話回線を利用した警報遮断連動型の警報器の取り付け促進を行っているが、費用負担等の理由から設置件数が伸びていない。LP ガス部門での実績・安全性等をアピールし、取り付け普及を実施。

津山ガス

警報器取り付けキャンペーンを実施、チラシ作成、需要家に全戸配布。

水島ガス

機器更新時は現金契約の顧客に対し、リース化提案することで、次回の更新率を向上させる。新規設置は、定保機会やガス開栓時の取り付け促進に加え、販売ロープレの実施や他社の取組み事例を共有化、提案スキルの向上を図る。

福山ガス

1 年以上更新していない顧客をリスト化し、更新のお願い電話等の営業活動を実施。

因の島ガス

開栓時や、その他の業務機会に設置を勧めている。

松江市

開栓時や保安調査、ガス展やミニ展示会等の接点業務時に顧客へ周知や取り付け提案を行っている。

出雲ガス

専従者はいないため、修理、開栓時等あらゆる業務機会において更新。新規需要家については 100% 設置を目指す。未設置需要家には危険性、必要性を周知し取り付け依頼を実施。

浜田ガス

開栓時の新規取り付け促進。ガス展示会等イベントでの販売促進。更新時の外部委託。

久留米ガス

開栓受付時、開栓作業時、および定期保安点検終了時に警報器の案内を行い、警報器の必要性や機能を知っていただくことを心掛けている。今後は、火災・CO 検知機能付き警報器の一層の普及拡大を図るとともに、分譲マンションへの一斉取り付け提案を行うことで、普及拡大を目指す。

大牟田ガス

新設物件＝設計段階より警報器設置の案内を行い、設置率 80% 以上を目指す。取り換え＝期限満期 2～3 カ月前から事前連絡を行い、取り換え率の向上と普及率の向上を目指す。

筑紫ガス

開栓、保安調査等の業務機会に取り付け促進をする。有効期限を管理し、取り換えの促進をする。分譲マンションには、他社製品の期限切れも含め、管理会社等を通じ、一斉取り換えを提案する。新築の戸建、集合住宅への設置案内をする。対象の業務用顧客へは購入しやすい価格設定を行い、業務用換気警報器の年間設置目標を立て実施する。

唐津ガス

あらゆる業務の機会を通じて設置促進を進めている。

佐賀ガス

普及率アップのため、年 1 回全需要家へ PR チラシを検針時に配布している。期限切れ 1 カ月前に需要家へ DM を送付後、営業課員にて連絡、訪問することで継続を促進し、公団住宅の改修時には入居者説明会にて PR することで入居に際し、設置を促進している。

鳥栖ガス

開栓時に顧客に案内（アパート等）。保安検査時に顧客に案内。分譲マンションは管理会社に共同提案。居住中の家屋には保安検査時に案内チラシ配布。開栓中で入居予定の家屋（開栓待ち）には、チラシを投函（未設置の場合）。

エコア

開栓、定期調査時、特別巡回時に警報器取り付けを勧め、設置率 100% を目標に取り組んでいる。

宮崎ガス

ガス展等のイベントでの呼びかけや、開栓、定期保安調査等での業務機会を通じて普及に取り組んでいる。

南日本ガス

開栓・定期保安調査時の取り付け促進。業務用換気警報器設置率目標は 100%。

国分隼人ガス

満期警報器取り換えの周知ハガキを投函。昼間、当直時の電話連絡。保安点検、開栓時に取り換え。

出水ガス

単機能警報器からの更新では、複合機（ガス・CO）の設置を行っている。

沖縄ガス

新設、リフォーム工事等で警報器取り付けの提案を行う。ガス開栓、消費機器調査時の際に取り付けの提案、促進を図っている。

ガス警報器工業会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-16-4 アーバン虎ノ門ビル4F
TEL. 03-5157-4777 FAX. 03-3597-2717
<http://www.gkk.gr.jp/>